

学校と地域が一体となって食育の充実を図る浜頓別町立浜頓別中学校の取組

浜頓別町立浜頓別中学校は、地域と連携し、郷土に対する理解と愛着を深める教育活動の充実に取り組んでおり、地域で獲れる食材を中心とした食育も、地域の自然や産業等に関する理解を深める取組の一つです。

中でも、年に数回、頓別漁業協同組合から食材の寄贈を受けて調理される学校給食を中心とした取組は、地域の基幹産業である漁業について、「楽しく」「美味しく」学ぶことができるとして、子どもたちからも好評を得ています。

6月には、地域で獲れたホタテ、毛ガニを使った「ホタテご飯」と「毛ガニ汁」が給食に出され、子どもたちは地域の恵みのよさを味わうとともに、地域の水産資源の豊かさを実感しています。

また、11月には、地域で水揚げされた鮭を使った、「鮭のマヨネーズ焼き」が給食に出されました。今年は秋サケの定置網漁が不漁でしたが、こうした状況にあっても、食材を提供してくださる地域の方々に対して、子どもたちは改めて感謝の気持ちを抱いていました。



【給食は毎日全校で食べます】



【「ホタテご飯」と「毛ガニ汁」】



このように、地域の豊かな産物を活用し、食育の充実に取り組んでいるのが、栄養教諭である淡路則子先生です。淡路先生は、その日の給食のメニューについて、産地や食べ方をまとめたお便りを作って配付し、子どもたちの食に対する関心を高める指導を継続して行っています。

地域の恵みを食に生かして、郷土への理解と愛着を深める浜頓別中学校の取組は、学校と地域が一体となった教育活動の在り方を示しています。

宗谷教育局教育支援課義務教育指導班指導主事 山寺 潤

【その日の給食を紹介するお便り】